



キャリアパスフォーラム 第3弾



— 海外の日本語教育現場（北米編） —

このキャリアパスフォーラムは、将来日本語教育に関わりたい方や、現在日本語教育に関わっていても違う分野にチャレンジしたい方に向けて、日本語教育業界の多様な現場をよく知ってもらうためのイベントです。

キャリアパスフォーラム第3弾は海外の日本語教育現場（北米編）です。将来、海外で日本語を教えてみたい、海外でのキャリアを積んでみたいと思われている方も多いのではないのでしょうか。

キャリアパスフォーラムへの参加を通して、海外の現場を知り、将来のキャリアを考えてみませんか。

日 時：2023年2月4日（土）10：00～12：00（日本時間）

参加費：500円（会員・非会員問わず）

※中高生・大学学部生は参加費無料

定 員：100名（要事前申込・定員になり次第締切）

対 象：キャリアとして海外の日本語教育を知りたい方

将来、海外の日本語教育に関連する機関で働くことに興味を持っている方

キャリアパスとして、次のステップに進みたいと考えている方

申込方法：日本語教育学会 HP (<https://www.nkg.or.jp/>) の「[マイページ](#)」から事前申し込み。

[非会員の方もマイページ登録をしての申し込み](#)となります。

※中高生・大学学部生は[こちら](#)に必要な事項を記入し、在学中であることがわかる書類（学生証の写真等）をご提出ください。

申込締切：2023年1月26日（木）正午（日本時間）

実施方法：Web 会議システム Zoom を用いたオンライン開催で実施します。

Zoom を利用するための事前準備や接続方法等については、

後日、申込者に対してご案内いたします。

主 催：公益社団法人日本語教育学会（担当：チャレンジ支援委員会）



日本語教育学会
HPはこちらから

10：00～10：10 挨拶・趣旨説明・海外の日本語教育事情

10：10～10：55 登壇者による海外での日本語教育についての説明

(1) 各機関による北米での事業についての説明

(2) 各教育現場での仕事内容についての説明

※登壇者は裏面参照

10：55～11：00 休憩

11：00～11：10 共通する質問への回答

11：10～11：55 車座タイム

11：55～12：00 まとめ



問合先：公益社団法人日本語教育学会（チャレンジ支援委員会）

TEL：03-3262-4291（平日 9～18 時のみ）

E-mail：challenge@nkg.or.jp



公益社団法人

日本語教育学会

登壇者紹介

三井知之（公益財団法人 海外子女教育振興財団 教育アドバイザー）

<https://www.joes.or.jp/>

海外に駐在される方のお子様の教育相談、教科書の給与を行います。子供たちが通う在外教育施設（日本人学校、補習授業校）の派遣教員の保険斡旋、各学校の教材整備、教材斡旋、安全対策援助、運営支援、コンクールの主催を行っています。在外教育施設がない地域では通信教育事業を展開。北米地域は現地校に通う子供たちが、週末等に日本語力を保持するために通う日本語補習授業校が多いため、そこで指導する現地の先生方の初任者研修会、授業研究会、情報交換会の支援をしています。



筒井由美子（ロサンゼルス補習授業校あさひ学園高等部 グローバルコース主任）

<https://www.asahigakuen.com/>

私は「日本語教育→英語教育→小学校低学年教育→バイリンガル教育」と流れてきました。ステージが替わるとそれまでのスキルは通用せず、痛い失敗もありました。今は補習校で、日本語も英語も母語である日系アメリカ人高校生を指導しています。どのような教育が彼らの将来に資するか、試行錯誤が尽きない毎日です。私の失敗と試行錯誤から、これからの日本語教育者である皆様に何かお伝えできたらと思っています。



清水貴広（独立行政法人 国際交流基金 米国若手日本語教員（J-LEAP） 主管担当者）

<https://www.jpff.go.jp/>

独立行政法人国際交流基金（JF）は、世界の全地域で国際文化交流事業に取り組む専門機関として、北米においても日本語教育や日本文化理解を促進する機関や活動へ様々な支援を行っています。「米国若手日本語教員（J-LEAP）」事業では、米国の日本語教育のさらなる発展や日米の若者間の交流促進を目的として、10年以上にわたり、米国の初中等教育機関に90名を超える若手日本語教師をアシスタントティーチャーとして派遣してきました。今回は、その事業概要や具体的な業務内容、応募要件についてご紹介します。



西島阿弥子（独立行政法人 国際交流基金 日本語国際センター専任講師）

2013年～2015年 J-LEAP に参加し、ワシントン州シアトルの公立高校でアシスタントティーチャーとして活動。J-LEAP での活動を通して、生徒一人ひとりを尊重し、生徒が持つ可能性を引き出していくことの大切さを学びました。帰国後は、日本語国際センターで教材開発の仕事に携わった後、大学院進学。2019～2022年、日本語専門家としてタイに赴任し、2022年5月より、日本語国際センターで教師研修を担当しています。日本語教師、日本語学習者が共に学び合える場をつくり、自身も一緒に成長していきたいと考えています。

高見智子（全米日本語教育学会 2022 年会長）

<https://www.aatj.org>

ペンシルバニア大学 上級講師 アジア言語文明学科日本語プログラムディレクター）

全米日本語教育学会は全米の日本語教育、言語学、文学、日本文化研究の推進を目的としています。主な活動は年2回の学会開催、学会誌の刊行、新聞の発行、奨学金援助、研修の提供、日本語能力試験や National Japanese Exam の実施、National Honors Society、年賀状コンテストです。会員は年少者教育から高等教育までを含む教員、研究者、大学院生など、約1200人います。



魚立康夫（フロリダ大学 言語文学文化学科 上級講師）

フロリダ州の北中央部の町ゲインズビルにあるフロリダ大学にて日本語を教えています。本校は日本研究の専攻があり、日本語を教えている講師は私を含め三名います。こちらの日本語プログラムでは講師間で上下関係を作らず、コーディネーターなどの役割も持ち回りで担当しています。またフロリダ州日本語教師会にも所属し、州内の日本語教員ともネットワークを保つようにしています。